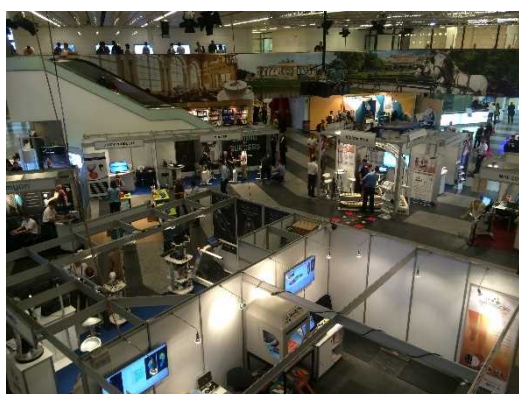


## European College of Sport Science 2016 に参加して

広域科学専攻 博士課程 1年 筒井和詩（工藤研究室）

この度「博士課程学生のための国際研究集会渡航助成」の支援を受けて、2016年7月6日ー9日にオーストリアのウィーンで行われた 21st Annual Congress of the European College of Sport Science に参加し、情報収集および研究成果の発表を行った。

本学会は、幅広いスポーツ分野における最新の知見を発表・議論することによって、スポーツ科学の更なる発展を目指す国際的な学術集会である。



学会会場(Austria Center Vienna) の 1F



多数の参加者により活発な議論がなされた

私は「Defender's pursuit strategy against an attacker in interpersonal competition task」というタイトルでポスター発表を行った。本研究では、1対1の突破 - 阻止課題において、守備者が攻撃者を捕捉する際の方略について分析した。本研究の主な成果は、守備者の横方向の速度におけるばらつきは守備の成功した試行と失敗した試行で差がないのに対し、前後方向において守備の失敗した試行では成功した試行よりも速度のばらつきが大きいことを明らかにした点である。

口頭発表では、スポーツ現場への応用を意識した報告が多かった。特にビッグデータを用いたサッカーの試合分析方法に関して活発な議論がなされ、とても勉強になった。今回の学会は、多くの研究者と議論すること、あるいは実績のある研究者の発表を聞くことを通じて今後の研究について改めて考える良い機会となった。

国際学会への参加は初めてだったが、自身の研究に対しての意見だけでなく、各分野の最先端の研究や測定機器について知ることができ、非常に勉強になった。本学会を通して得られた知識やアドバイスを今後の研究に活かしたい。